

◀2011年 東京大学(前期)▶

♠ 理 科

1 座標平面において、点 $P(0, 1)$ を中心とする半径 1 の円を C とする。 a を $0 < a < 1$ を満たす実数とし、直線 $y = a(x + 1)$ と C との交点を Q, R とする。

- (1) $\triangle PQR$ の面積 $S(a)$ を求めよ。
 (2) a が $0 < a < 1$ の範囲を動くとき、 $S(a)$ が最大となる a を求めよ。

2 実数 x の小数部分を、 $0 \leq y < 1$ かつ $x - y$ が整数となる実数 y のこととし、これを記号 $\langle x \rangle$ で表す。実数 a に対して、無限数列 $\{a_n\}$ の各項 a_n ($n = 1, 2, 3, \dots$) を次のように順次定める。

$$(i) \quad a_1 = \langle a \rangle$$

$$(ii) \quad \begin{cases} a_n \neq 0 \text{ のとき, } a_{n+1} = \left\langle \frac{1}{a_n} \right\rangle \\ a_n = 0 \text{ のとき, } a_{n+1} = 0 \end{cases}$$

- (1) $a = \sqrt{2}$ のとき、数列 $\{a_n\}$ を求めよ。
 (2) 任意の自然数 n に対して $a_n = a$ となるような $\frac{1}{3}$ 以上の実数 a をすべて求めよ。
 (3) a が有理数であるとする。 a を整数 p と自然数 q を用いて $a = \frac{p}{q}$ と表すとき、 q 以上のすべての自然数 n に対して、 $a_n = 0$ であることを示せ。

3 L を正定数とする。座標平面の x 軸上の正の部分にある点 $P(t, 0)$ に対し、原点 O を中心とし点 P を通る円周上を、 P から出発して反時計回りに道のり L だけ進んだ点を $Q(u(t), v(t))$ と表す。

- (1) $u(t), v(t)$ を求めよ。
 (2) $0 < a < 1$ の範囲の実数 a に対し、積分

$$f(a) = \int_a^1 \sqrt{\{u'(t)\}^2 + \{v'(t)\}^2} dt$$

を求めよ。

- (3) 極限 $\lim_{a \rightarrow +0} \frac{f(a)}{\log a}$ を求めよ。

4 座標平面上の 1 点 $P\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{4}\right)$ をとる。放物線 $y = x^2$ 上の 2 点 $Q(\alpha, \alpha^2), R(\beta, \beta^2)$ を、3 点 P, Q, R が QR を底辺とする二等辺三角形をなすように動かすとき、 $\triangle PQR$ の重心 $G(X, Y)$ の軌跡を求めよ。

5 p, q を 2 つの正の整数とする。整数 a, b, c で条件

$$-q \leq b \leq 0 \leq a \leq p, \quad b \leq c \leq a$$

を満たすものを考え、このような a, b, c を $[a, b; c]$ の形に並べたものを (p, q) パターンと呼ぶ。各 (p, q) パターン $[a, b; c]$ に対して

$$w([a, b; c]) = p - q - (a + b)$$

とおく。

- (1) (p, q) パターンのうち、 $w([a, b; c]) = -q$ となるものの個数を求めよ。また、 $w([a, b; c]) = p$ となる (p, q) パターンの個数を求めよ。
 以下 $p = q$ の場合を考える。

- (2) s を整数とする. (p, p) パターンで $w([a, b; c]) = -p + s$ となるものの個数を求めよ.
 (3) (p, p) パターンの総数を求めよ.

6

- (1) x, y を実数とし, $x > 0$ とする. t を変数とする 2 次関数 $f(t) = xt^2 + yt$ の $0 \leq t \leq 1$ における最大値と最小値の差を求めよ.
 (2) 次の条件を満たす点 (x, y) 全体からなる座標平面内の領域を S とする.

$x > 0$ かつ, 実数 z で $0 \leq t \leq 1$ の範囲の全ての实数 t に対して

$$0 \leq xt^2 + yt + z \leq 1$$

を満たすようなものが存在する.

S の概形を図示せよ.

- (3) 次の条件を満たす点 (x, y, z) 全体からなる座標空間内の領域を V とする.

$0 \leq x \leq 1$ かつ, $0 \leq t \leq 1$ の範囲の全ての实数 t に対して

$$0 \leq xt^2 + yt + z \leq 1$$

が成り立つ.

V の体積を求めよ.

♠ 文 科

- 1** x の 3 次関数 $f(x) = ax^3 + bx^2 + cx + d$ が, 3 つの条件

$$f(1) = 1, \quad f(-1) = -1, \quad \int_{-1}^1 (bx^2 + cx + d) dx = 1$$

を全て満たしているとする. このような $f(x)$ の中で定積分

$$I = \int_{-1}^{\frac{1}{2}} \{f''(x)\}^2 dx$$

を最小にするものを求め, そのときの I の値を求めよ. ただし, $f''(x)$ は $f'(x)$ の導関数を表す.

- 2** 実数 x の小数部分を, $0 \leq y < 1$ かつ $x - y$ が整数となる実数 y のこととし, これを記号 $\langle x \rangle$ で表す. 実数 a に対して, 無限数列 $\{a_n\}$ の各項 a_n ($n = 1, 2, 3, \dots$) を次のように順次定める.

$$(i) \quad a_1 = \langle a \rangle$$

$$(ii) \quad \begin{cases} a_n \neq 0 \text{ のとき, } a_{n+1} = \left\langle \frac{1}{a_n} \right\rangle \\ a_n = 0 \text{ のとき, } a_{n+1} = 0 \end{cases}$$

- (1) $a = \sqrt{2}$ のとき, 数列 $\{a_n\}$ を求めよ.
 (2) 任意の自然数 n に対して $a_n = a$ となるような $\frac{1}{3}$ 以上の実数 a をすべて求めよ.

- 3** p, q を 2 つの正の整数とする. 整数 a, b, c で条件

$$-q \leq b \leq 0 \leq a \leq p, \quad b \leq c \leq a$$

を満たすものを考え, このような a, b, c を $[a, b; c]$ の形に並べたものを (p, q) パターンと呼ぶ. 各 (p, q)

パターン $[a, b; c]$ に対して

$$w([a, b; c]) = p - q - (a + b)$$

とおく.

(1) (p, q) パターンのうち, $w([a, b; c]) = -q$ となるものの個数を求めよ. また, $w([a, b; c]) = p$ となる (p, q) パターンの個数を求めよ.

以下 $p = q$ の場合を考える.

(2) s を p 以下の整数とする. (p, p) パターンで $w([a, b; c]) = -p + s$ となるものの個数を求めよ.

4 理科 **4** と同じ.

出題範囲と難易度

♣ 理科

- 1** 標準 III 微分法的应用
- 2** 難 B 数列
- 3** 難 III 積分法的应用
- 4** 標準 II 図形と方程式
- 5** 標準 A 場合の数
- 6** 難 III 積分法的应用

♣ 文科

- 1** 基本 II 微分積分
- 2** 標準 B 数列
- 3** 難 A 場合の数
- 4** 標準 II 図形と方程式

略解

◇ 理 科

1 (1) $S(a) = \frac{\sqrt{2a}(1-a)}{a^2+1}$

(2) $a = 2 - \sqrt{3}$

2 (1) $a_n = \sqrt{2} - 1$

(2) $a = \frac{-1 + \sqrt{5}}{2}, -1 + \sqrt{2}$

(3) 証明は省略

3 (1) $u(t) = t \cos \frac{L}{t}, v(t) = t \sin \frac{L}{t}$

(2) $f(a) = \sqrt{1+L^2} - \sqrt{a^2+L^2} + L \left\{ \log(\sqrt{1+L^2} - L) - \log \frac{\sqrt{a^2+L^2} - L}{a} \right\}$

(3) $\lim_{a \rightarrow +0} \frac{f(a)}{\log a} = -L$

4 $\left(x - \frac{1}{6}\right)\left(y + \frac{1}{12}\right) = \frac{1}{9}, \frac{1}{6} < x < \frac{1}{2}$

5 (1) $\begin{cases} w([a, b; c]) = -q \text{ のとき} & p+1 \text{ 個} \\ w([a, b; c]) = p \text{ のとき} & q+1 \text{ 個} \end{cases}$

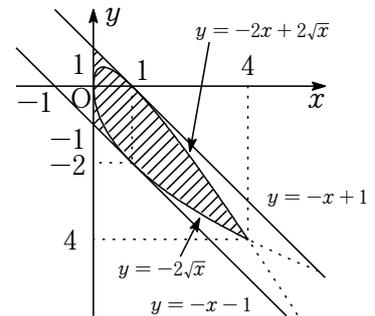
(2) $\begin{cases} s < 0 \text{ または } s > 2p \text{ のとき} & 0 \text{ 個} \\ 0 \leq s \leq p \text{ のとき} & (p+1)(s+1) \text{ 個} \\ p < s \leq 2p \text{ のとき} & (p+1)(2p-s+1) \text{ 個} \end{cases}$

(3) $(p+1)^3$ 個

6 (1) $\begin{cases} y \geq 0 \text{ のとき} & x+y \\ -x \leq y \leq 0 \text{ のとき} & x+y + \frac{y^2}{4x} \\ -2x \leq y \leq -x \text{ のとき} & \frac{y^2}{4x} \\ y \leq -2x \text{ のとき} & -(x+y) \end{cases}$

(2) $\begin{cases} y < -2x \text{ のとき} & -x-y \leq 1 \\ -2x \leq y \leq -x \text{ のとき} & y^2 \leq 4x \\ -x \leq y \leq 0 \text{ のとき} & -2x-2\sqrt{x} \leq y \leq -2x+2\sqrt{x} \\ y > 0 \text{ のとき} & x+y \leq 1 \end{cases}$

右図斜線部分で, 境界線上の点は, y 軸上の点を含まず他は含む.



(3) $\frac{17}{18}$

◇ 文 科

1 $I = \frac{81}{32}, f(x) = -\frac{1}{4}x^3 - \frac{3}{4}x^2 + \frac{5}{4}x + \frac{3}{4}$

2 理科 **2** の (1), (2) と同じ.

3 (1)
$$\begin{cases} w([a, b; c]) = -q \text{ のとき} & p+1 \text{ 個} \\ w([a, b; c]) = p \text{ のとき} & q+1 \text{ 個} \end{cases}$$

(2)
$$\begin{cases} s < 0 \text{ のとき} & 0 \text{ 個} \\ 0 \leq s \leq p \text{ のとき} & (p+1)(s+1) \text{ 個} \end{cases}$$

4 理科 **4** と同じ.